

様式 4

令和 7 年度第 2 回 富士見市社会教育委員会議 議事録						
日 時	令和 7 年 6 月 1 8 日（水） 開会 午後 7 時 0 0 分 閉会 午後 8 時 5 0 分					
場 所	富士見市立中央図書館 2 階 視聴覚ホール					
出席者	委 員	渡邊（知）委員	関野委員	戸田委員	深瀬委員	本田委員
		○	○	○	欠	○
		八木橋委員	河村委員	渡邊（誠）委員	檜山委員	亀森委員
		○	○	○	○	○
	事 務 局	生涯学習課 課長、副課長、主任				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者 0 人）					
議 題	1 委嘱状交付式 2 オリエンテーション （１）自己紹介 （２）関係委員等選出 （３）連絡事項 3 テーマについて					

議 事 内 容

1 委嘱状交付式

- ・教育長より

2 オリエンテーション

(1) 自己紹介

- ・各委員より

(2) 議長・副議長の選出

- ・議長として本田委員、副議長として八木橋委員を選出

(3) 社会教育委員会について

- ・事務局より、社会教育委員会について説明

(4) 関係委員等選出

- ・入間地区社会教育協議会理事については、関野委員、八木橋委員を選出済み。
- ・富士見市図書館協議会委員については、選出期日が会議前であった為、事務局が事前に戸田委員に依頼し、お引き受けいただいた。
- ・富士見市人権教育推進協議会監事については、渡邊（知）委員を選出。入間地区人権教育推進委員については、渡邊（誠）委員を選出。
- ・富士見市生涯学習推進市民懇談会については、深瀬委員を選出済み。

(5) 連絡事項

- ・事務局より、出席者謝礼について説明

3 会議の進め方について

- ・事務局より、会議の進め方について説明

【議 長】生涯学習推進基本計画の策定については、時間をかけて行うものなのか。

【事務局】現在、計画のたたき台を作っている段階であり、遅くとも年内には形にしなくてはならないものである。形になった物はお示しできるが、計画の策定をテーマにして来年度も検討することは出来ない。来年度以降は計画の進捗管理として計画についての報告・検討していただくことはできる。

【議 長】会議1回をすべて使うような内容か。

【事務局】ボリュームが多いため1回すべて使うことになる。

【委 員】入間地区社会教育委員協議会の事務局が現在、富士見市という認識でよいのか。

【事務局】おっしゃるとおりである。

【委 員】入間地区社会教育協議会の研修会への参加は、社会教育委員会として参加になるのか。

【事務局】社会教育委員へ研修会の通知をしているが、全員で参加するのではなく、

個人の都合に合わせての参加となる。

【委員】補足だが、入間地区社会教育協議会には、近隣の13市町社会教育委員の中から各市町の代表2名が参加している部会があり、他にも行政の社会教育担当の課長や文化財担当などが参加しているテーマ別の部会がある。それら全体で構成されているものが入間地区社会教育協議会である。研修会については、その中の社会教育委員部会が主催しているものである。今年度の日程はすでに決定しており、研修会は10月10日にキラリふじみで、生涯学習フォーラムは令和8年2月2日頃に次の事務局である三芳町のコピス三芳で開催を予定している。内容についてはこれから検討していくが、社会教育委員を対象に行う研修であり、社会教育委員としての活動の参考になるものであるため、周知しているが、強制的に参加を促すものではないので、ご理解いただきたい。

【委員】法律で社会教育委員の所掌事務として諸計画の立案が謳われている中で、生涯学習推進基本計画は非常に重要なものであると考える。現行計画と次期計画の計画案に意見を述べさせていただくことが必要であると考え。また補助金交付についての意見は今までも行っていたのか。

【事務局】一時期行っていない期間もあったようだが、ここ数年は実施している。

【委員】施設マネジメントの話につながるが、現場の見学を行いたい。名前と役割、運用方法について、社会教育施設に直接伺いたい。

【事務局】現場の見学会については、事前に調整を行えば問題なく実施できる。

【委員】見学するのは、どのような現場を想定しているか。

【事務局】公民館、交流センター、コミュニティセンターなど、市民の方には区別がつきにくいものを想定している。

【委員】それらの歴史的な経緯も含めて勉強したい。

【議長】他に質問がないのであれば、どのようにこの会議を進めていくかについて、全員の意見を伺いたい。

【委員】この場でこれからの2年間の方向性を決めるのか。

【議長】この場で決めるのもよいが、今回伺った意見を一度持ち帰り、次回以降の会議でまた話し合うこともできる。

【委員】今回は欠席者もあり、今期の初回であるため、次回以降意見を出し合う方法が良いと考える。

【議長】承知した。今回伝えておきたいことがある方はいるか。

【委員】自分自身は2年前に初めて社会教育委員となり、まったくわからない状況でスタートしたが、全員でいろんな意見を出して、テーマを決めて、提言書をまとめていく過程で、徐々に理解を深めていくことができた。いきなりテーマを決めてしまうと全体的な生涯学習像がわからなくなってしまう恐れもあり、最初は全体をみてテーマを絞っていく方法が良いと考える。

【議長】最初はテーマを絞りこまずに意見を出し合っていくのも良いと思う。

【委員】前期のテーマを絞り込む過程で、断念したテーマを今期検討してみるのも一つの方法である。

【議長】前期は社会教育に関する活動をしている方が集まっていたため、その人たちが考える理想の社会教育の姿を考えた。その一環で生涯学習推進基

本計画の進捗管理を行うアクションプランを全員で読みながら、富士見市の強みと弱みを考え、考えてきたものをまとめて現状分析を行い、理想と現実のギャップを埋めるための策を考えていった。提言書を現実に進めてもらえる内容にするために、テーマを絞り込み、「生涯学習ガイド」という既に使われているものについての意見をまとめていった。理想と現状のギャップの課題となっているものは多くあるが、まずは新しい人に生涯学習に入ってきてもらうための入り口として、今あるものを有効活用していこうという考えになった。今回もまずはテーマを決め打ちするのではなく、全体を俯瞰してみていった方がよいというのがご意見である。現場の視察も行いつつ、全体を俯瞰して考えていくのもよい。

【委員】前期の課題を伺いたい。

【議長】提言書も含め、前期の過程を全員で共有したい。

【事務局】事務局の宿題として、富士見市の社会教育の土台についての共有を全員に行う。

【委員】資料を事前に送ってもらい、次回の会議で前期までの話をしつつ今後について話し合っていくのも良いと考える。

【議長】次回の会議で、前期の資料について説明しながら、今期どのように進めていくか意見を出してもらい、検討していきたい。